

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスピュアフレンズ		
○保護者評価実施期間	2024年8月1日 ～ 2024年10月12日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○従業員評価実施期間	2024年8月1日 ～ 2024年10月12日		
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年10月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間が清潔で、心地よく過ごせる環境スペースになっていること。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていること。	利用児が心地よく過ごせる環境スペースにするために、毎日生活空間をきれいに掃除し、環境スペースを整理整頓しています。子ども達の活動に合わせた空間にしております。	環境スペースを広く使えるように、出来るだけ不要な物は置かないようにしています。 unnecessaryな物はすぐに処分しております。
2	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っていること。	その日の支援を子どもが自己選択できるように、職員が配慮して、子どものその日の心身の状態に応じた支援をしております。	まずは、子どものやりたいことを優先し、子どもの心身の状態を見ながら、その日の支援を行うようにしております。
3	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしていること。	子どもや保護者の今おかれている立場を理解し、状態や環境に配慮して、子どもや保護者と意思の疎通をはかるようにしております。	保護者と手紙の活用をさらに充実させていきたいです。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	玄関がバリアフリー化出来ていないこと。	玄関に段差が2段あります。職員のサポートで日々の支援の対応が安全に出来ているので急いで改善しなくてもいいのではないかと考えていることが要因です。	現在、車イスの利用児がおりません。しかし、今後、車イスの利用児がいれば、すぐにスロープ等を取り付けて、車イス利用児が安心して安全に昇降出来るように改善する必要があります。
2	保護者会を開催することにより、保護者同士で交流する機会を設ける支援をしていないこと。きょうだい同士で交流する機会を設ける支援をしていないこと。	個人情報保護の観点から無理に保護者会やきょうだい同士で交流する機会は開催しなくてもいいと考えておりました。	少しでも保護者様の為になるような保護者会を開催出来るように取り組んでいきたいです。
3	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することが出来ていないこと。	通信等を発行することや、HP等を自分で改善、活用出来る職員がいないこと。	今後、少しでも通信等を発行出来るようにしていきます。HPの内容を定期的に見直して、少しでも閲覧してもらえように取り組んでいきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスピュアフレズ

公表日 2024年10月24日

利用児童数 2名

回収数 2件

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2					
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	2					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2					
	17	事業所の職員から共感的に支援がされていると思いますか。	2					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2					
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2					
	29	事業所の支援に満足していますか。	2					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービスピュアフレンド		2024年 10月 24日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		広くスペースを使えるように余計なものは置かないようにしています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		安全に配慮して、職員の配置を行っております。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		7	段差を昇降する際、職員が付き添い安全に昇降できるように対応しております。	玄関に段差があり、バリアフリー化出来ていません。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日清掃を行い、心地よく過ごせる環境にしております。こども達の活動に合わせた空間にしております。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		必要に応じて、個別の部屋や場所を使用できるようにしております。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		会議に職員全員が参画して、目標設定と振り返りを行っております。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		保護者向け評価表により、保護者等の意向を把握して、その内容を業務改善につなげるように取り組んでいます。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		職員会議を開催して、その内容を業務改善につなげるように取り組んでいます。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		現在第三者による外部評価を受けていません。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		職員の資質向上を図るために、研修受講、事業所研修を開催する機会を確保しております。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		適切に支援プログラムを作成しております。	今年度中に公表します。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		アセスメントを適切に行い、職員全員でニーズや課題を分析し、その結果に基づき放課後等デイサービス計画を作成しております。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		児童発達支援管理責任者と関係職員が情報共有を行い、こどもの最善の利益を考慮した検討を行っております。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		職員間に共有し、計画に沿った支援を行っております。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		事業所のアセスメントシートを用いて、日々の活動で確認しております。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		放課後等デイサービスガイドラインの「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目を設定し、具体的な支援内容を設定しております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		複数の職員で立案を行っております。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		活動プログラムが固定化しないように、その日の心身の状態に応じた支援を行うようにしております。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		こどもの状況に応じた放課後等デイサービス計画を作成し、支援を行うようにしております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎日朝礼時に職員間で打合せ、支援の内容、役割分担の確認をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		終礼を行い、その日のよかった点、悪かった点などを職員間で情報共有を行って、支援の改善に取り組んでいます。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		日々の支援の記録をとり、支援の検証・改善に活かせるように取り組んでいます。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		半年に1回モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しに活かしております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		こどもが自己選択できるように、職員が確認するようにしております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		会議には、児童発達支援管理責任者が参画するようにしております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		連携して支援を行う体制は整えております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		学校との情報共有、連絡調整を必要に応じて行っております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		情報共有と相互理解に努めております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、支援内容等の情報を提供いたします。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7		必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受けるように取り組んでいます。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7		地域の図書館や公園を利用した時、他のこどもと活動する機会があります。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7		参加できる時は、参加するようにしております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		必要に応じて情報共有と共通理解を持っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		ご家族様に対しては支援を行っております。	ご家族様に対して家族支援プログラムやご家族様の参加研修会を行っておりません。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		丁寧な説明を行っております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮を踏まえて、こどもや家族の意向を確認しております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		支援内容の説明を行い、同意を得ております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		悩みや相談があれば、すぐに対応し、面談や助言や支援を行うようにしております。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7	保護者会・交流会等を開催しておりません。	今後、保護者会や交流会を開催できるように取り組みます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情があれば、すぐに対応し、迅速かつ適切に対応するようにしております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	5	こどもや保護者様に対して発信しております。	HPをもっと閲覧してもらえるように、HPを改善していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報保護法に基づき、情報漏洩にならないように、職員全員が個人情報を取扱注意で対応しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		職員全員で配慮しております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7	地域住民は招待しておりません。	個人情報保護の為に、地域住民に開かれてほしくない要望あります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		職員全員に周知を行い、定期的に訓練を実施しております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		BCPを策定し、定期的に避難訓練を行っております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		保護者様より、事前に状況を確認するようにしております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		保護者様に食物アレルギーがあるなしの事前確認を行っております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画を作成し、研修や訓練を行い、支援をしております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		周知しております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットが起こった時、情報共有し、その都度対応をしております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		虐待防止の為、職員が研修に参加して、事業所内で情報共有しております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		放課後等デイサービス計画に記載しております。	今までに身体拘束は一回もしたことがありません。